

ハンドブック ワンポイント レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

中学校の顧問です。先日の中学生の大会で起こったことですが、クロスに厳しく打たれたボールをストレートに打ち返したところ、ネットポストの外側に付いているネット巻き器に当たり跳ね上がり、相手コートに入りました。相手のプレーヤーはネット巻き器に当たったのだからアウトだと思い返球しませんでした。この場合、そのボールは有効なのでしょうか。

また、ネットポストやネットポストからはみ出したネットのワイヤーロープに当たって相手コートに入った場合や、ネットより低いところのネットポストの外側を通して相手コートに行った場合はどうなるのでしょうか。

Answer

ネット巻き器やワイヤーロープにボールが当たって相手コートに入った場合やネットより低いところのネットポストの外側を通して相手コートに入ったなら有効

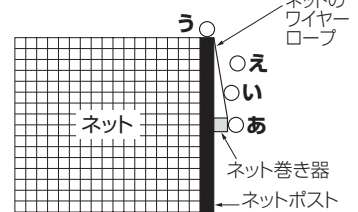
ご質問のネット巻き器に当たって正しく相手方コートに入った場合は有効です。

これは競技規則第35条第1号イ及び、競技規則第9条〔解説2〕の1により、ボールがネットポストの外側に触れて、相手方コートに正しく入った場合に該当し、かつネット巻き器もネットポストの一部とみなしているからです。

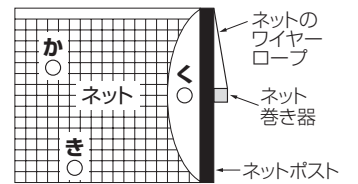
なお、ネットポストやネットポストからはみ出したネットのワイヤーロープに当たって相手コートに入った場合も有効です。また、ネットより低いところのネットポストの外側を通して相手方コートに正しく入った場合、高さについて特に述べていませんので、ネットより低いところを通ってもよいという解釈になり、これが俗に言われている“ボール廻し”でこれも有効です。

ところで、ネットとネットポストの間を通った場合は失ポイントとなりますので、ネットポストの内側か外側かで明暗が分かります。アンパイヤーは判定を間違わないためにもネットとネットポストに隙間を開けないよう、事前にしっかりと結んでいただくようお願いします。なお、ネットポストに密着しないネットがありますので注意したいものです。

ボールが、(あ) (い) (う) のいずれに当たっても相手方コートに正しく入れば有効
ボールが、(え) の空間を通して相手方コートに正しく入れば有効



ボールが、ネットの破れ目(か)、ネットの下(き)又はネットとネットポストの間(く)を通った場合は失ポイント



関連規則

競技規則第35条 (インプレーにおける失ポイント) 抜粋

インプレーにおいて失ポイントとなる場合は、つぎのとおりとする。ただしサービスのレット又は第1サービスのフォールトになる場合はこの限りでない。

(1) 打球が直接ネットを越さなかった場合(コールなし)やボールがネットの破れ目、ネットの下又はネットとネットポストの間を通った場合(スルー)。

ただし、次の場合を除く。

ア 打球がネット又はネットポストに触れて、これらを超えて正しく相手方コートに入った場合。

イ ボールがネットポストの外側を回り、又はネットポストの外側に触れて、相手方コートに正しく入った場合。

競技規則第9条 (ネットポスト) 抜粋

【解説2】 (1) ネット巻き器がネットポストの外側に付いている場合は、ネット巻き器もネットポストの一部とみなす。

(2) 移動式ネットポストで両側のネットポストを支える台、支柱棒及びパイプがネットの下部にある場合は、そのパイプもネットポストの一部とみなす。ただし、ネットポストを立てるための台・支持棒はネットポストとはみなさない。